

令和6年度当初予算の内容② 《スクラップ編》

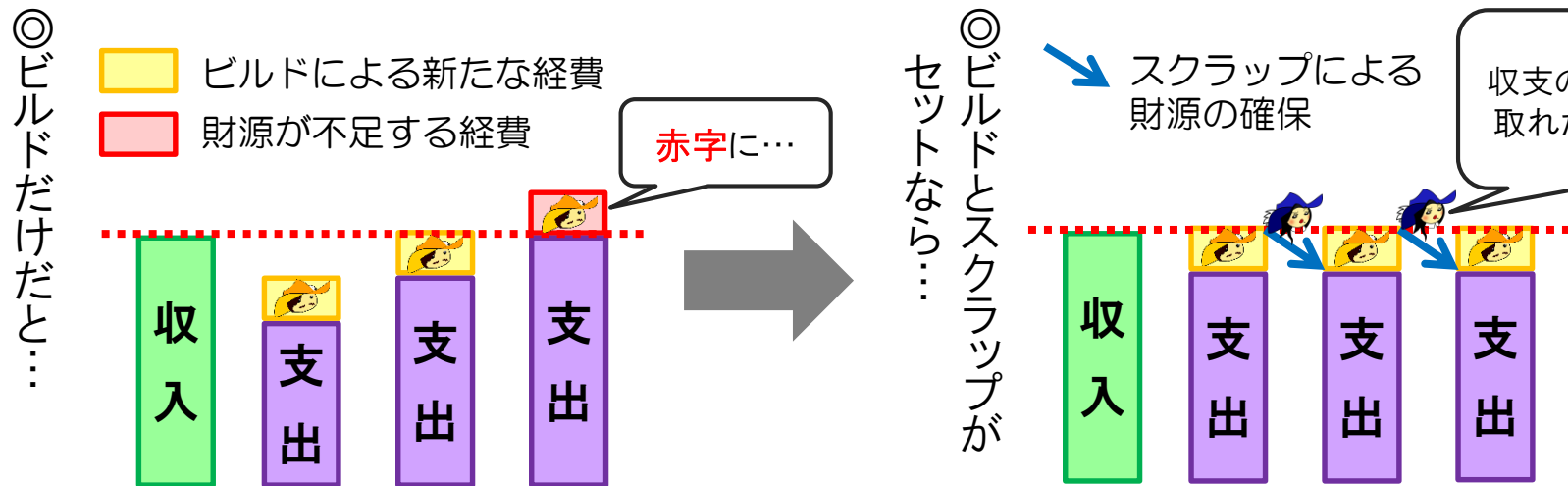


「**今**」と「**将来**」のための**ビルド**事業の説明に
続いて「**財政の健全性**」の確保について説明
するで！

確か**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）
と**スクラップ**（既存事業の見直し）はセット
だったよね！



そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまうんだよ。



左の図のように、**ビルド**だけだと収入以上の支出になって財源が不足するけど、右の図のように、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、收支のバランスを取ることができるねん。





ってことは、令和6年度予算を編成
するときにも**スクラップ**に取り組んだ
ってことね！

既存の事業を見直すことは、時代に適
したものになるように行政サービスを
活性化させることにもつながるから、
とてもいいことなんだよ。



ほな、令和6年度の予算編成で
取り組んだ内容を紹介するで！





まずはじめに、スクラップ言うても、
こんなふう zu いろいろな方法があるねん。

スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

歳入の確保

単純にサービスを止めてしまっ
だけじゃないのよね。





令和6年度予算編成でも、
多くのスクラップに取り組んだで。

例えば、「サービスの廃止・縮小」として、
幼稚園の廃園に伴って管理経費を見直したり
(約6,200万円減) してん。
合計で約1億7,000万円の見直しになるで。



実情に沿って廃止や縮小すれば、
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。
普段からサービスの効率化を意識したり、
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

令和6年度は、庁舎消防設備の運用
の見直し（約400万円減） などがある
で。

「最少の経費で最大の効果」を発揮する
ために、常日頃から効率的な実施方法を
検討しているんだ。約1,700万円も見直
しているよ。





そして「**経費の抑制**」。
これも実施方法の変更と同様に、効率化を図ったり、実情に沿って見直すことやで。

給食場厨房機器の更新計画を見直して備品購入費を抑えることで、約150万円も抑制してん。



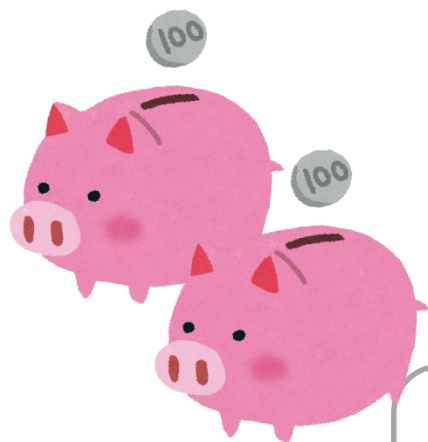
必要に応じて見直せば、新たなサービスの財源になるのね！





最後は「**歳入の確保**」。
サービスを見直して支出（歳出）を抑制
するだけでなく、利用の適正化や収入
（歳入）を増やして財源を確保しようっ
ていう方法やで。

令和6年度は、おにクルのネーミングライツ
の収入等で約2,800万円歳入を確保できてん
で。

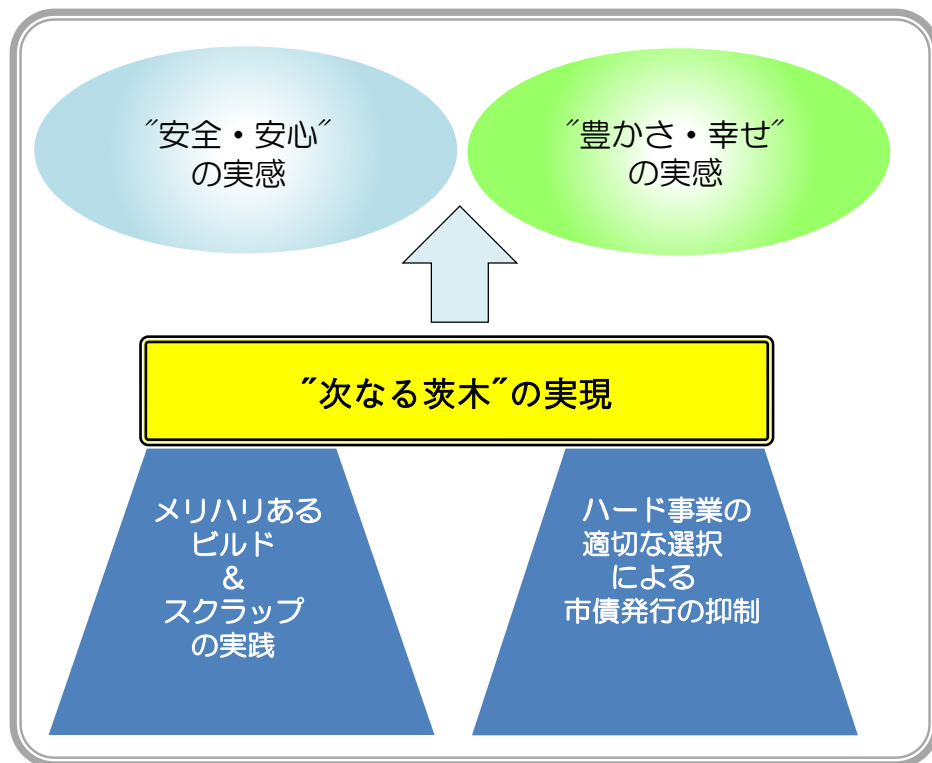


工夫を凝らした歳入の確保等にも
取り組んでいるんだね！





「**財政の健全性**」の確保には、
ビルド&スクラップの実践のほかにも、
ハード事業を適切に選択して市債（借金）
を抑制をする方法もあるんだよ。
ハード事業の実施に伴い発行する市債の償
還費用が、将来世代に重くのしかからない
ようにしないとね。



健全化の取組みによって、
将来にわたる健全財政を
確保してるのね！



令和6年度も「**財政の健全性**」を確保して
「**次なる茨木**」に向かって進んでいこう！

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

